

ブルーベリー栽培における有機質資材の利用法

【1 成果概要】

リンゴ剪定枝チップと間伐材チップはブルーベリー栽培におけるマルチ資材として利用でき、初期生育が良好となり、収量も増加します。
 リンゴ剪定枝チップはブルーベリー定植時の土壌改良資材として利用可能で、生育が良好となり、収量も増加します。

ブルーベリー栽培における有機質資材のマルチ利用

リンゴ剪定枝チップと間伐材チップでは初期生育が良好となります。

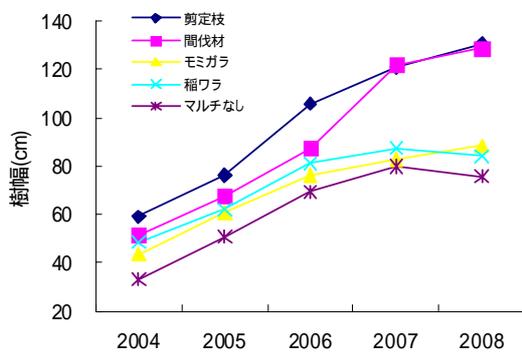


図1 マルチ資材別樹幅の年次変化

収量も増加します

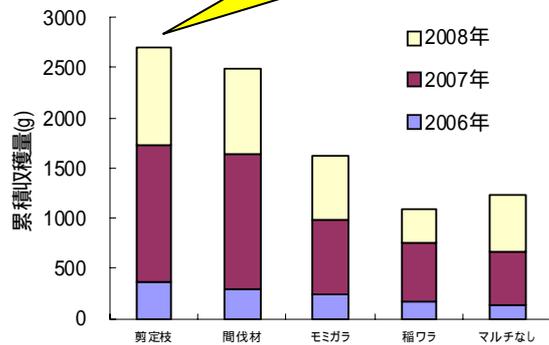


図2 マルチ資材別3カ年の累積収量

ブルーベリー栽培における有機質資材の土壌改良材利用



図3 土壌改良資材別ブルーベリーの生育状況(左から剪定枝、モミガラ、無処理)

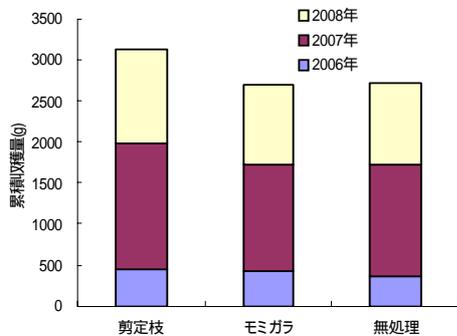


図4 土壌改良資材別3カ年の累積収量

リンゴ剪定枝チップ(左)と間伐材チップ(右)



赤松材を利用しました

【2 効果】

- りんご剪定枝及び間伐材の利用促進につながります。
- 初期収量が確保され、経営の安定化が図られます。

【3 適応対象】

農業普及員等の指導者等